

5月11日：ベトナム株はまちまちの中で中小型に注目が集まる

ベトナム市場はまちまちの動きとなった。その中で投資家は中小型への注目を高めている。

ホーチミン取引所のVN指数は0.11%安の1,057.12ポイントで取引を終えた。ハノイ取引所のHNX指数は0.24%高の214.41ポイントで取引を終えた。

ベトコムバンク（VCB）、ペトロベトナムガス（GAS）、ビンホームズ（VHM）、ビナムミルク（VNM）、テクコムバンク（TCB）といった銘柄が下落し相場を押し下げた。

その他、VN30指数採用銘柄では16銘柄が下落、10銘柄のみの上昇に留まった。

しかしながら、銘柄の騰落別では460銘柄が上昇し310銘柄の下落だった。つまりは中小型に買いが集まっていることを示している。

銀行セクターは全体として下落したが、CTG、VPBなどのいくつかの銀行株は上昇した。

一方、不動産株の上昇が目立っていた。QCG、HQC、DIG、SZLといった中小型の不動産株がストップ高を付けた。

DXGは出来高が2位となり、特に外国人からの買いを集めていた。

売買代金は13.5兆ドンで前日比で4%増加しており、流動性に問題は無い。

流動性の増加は、下げを吸収する買い需要があることを示している。また、中小型に注目が移っており、大型株は依然として警戒感が続いているとロンベト証券のアナリストは述べた。

楽観的に考えると、1,060-1,065ポイントを試しに行くだろう。テクニカル的に割安な株の上昇が見込めると同社は分析した。

外国人投資家は買い越しだった。両市場合計で1,400億ドンを買越しした。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。